



2024年8月 第763号

教会だより

カトリック甲府教会 月報

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10

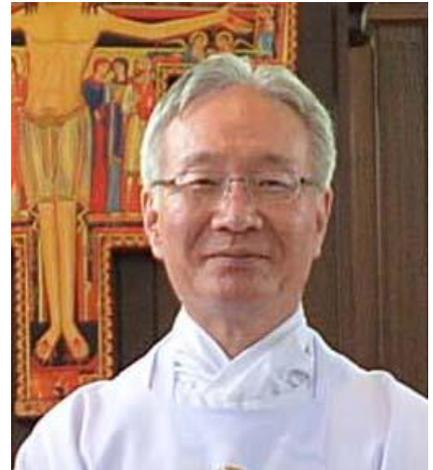
Tel / Fax 055-237-2531 <http://catholic-kofu.com>

編集・発行 カトリック甲府教会 広報委員会

2024年7月21日 ^{ねんかんたい}年間第16主日ミサでの^{せっきょう}お説教

カトリック甲府・塩山教会 主任司祭 芹沢 博仁

宣教に出かけて行って帰ってきた使徒たち。彼らのその働きによって『イエスは「しばらく休むがよい」と言われた』と、そこから話が始まっていますが休むために人里はなれたところへ出かけて行って、そのあと本当に休めたのかどうかについては一言も触れられていません。多くの人々・群衆がそこに集まって来ていたので休めなかったかもしれないと思われます。弟子たち・使徒たちへのそうしたイエスの配慮というものは決して弟子たちだけではなく、飼い主のいない羊のような群衆・人々にも向けられているということを少し私たちは今日の聖書のことばから考えていきたいと思えます。第一朗読でも『散らされ、追い払われる』そんな羊の群れを神（イエス）が集め、もとの牧場に帰らせると宣言されています。多くの人々が、こうした飼い主のいない羊のようになってしまっている。『飼い主のいない羊』というそんな姿を、今でしたら『誰からも顧みられない、配慮されない人々』と考えるのが今の私たちには一番よいのかなと思えます。顧みられない。配慮されない。順番でいけば『後回し』ということになるでしょうけど、そうした人々と私たちは、遠く離れたところではなくて自分たちの町に、すぐ近くにいるのだと見ていけるのならば、私たちだけではなくて私たちと共に目をとめる人々が、キリストが目をとめる、神が目をとめる人々がいる。もしかしたら私たちが休む時間が少し減るかもしれませんが、それでもその人たちに神が目を向けているということによって一緒にケアしていく、あるいは手分けして福音を述べ伝えていくということを私たちができるならば、選ぶならば、そこにはまた労苦と共にですけれども、喜びもあるだろうと思えます。このように顧みられない、配慮されない人々のことを少し考えてみた時に、私の頭に『ヤングケアラー』といわれる子ども達が頭に浮かびました。家族、特に親の看護や介護のために家の中での時間がそれに費やされていく。学校には通ったとしても介護をしていたら宿題をする時間、あるいは将来のため、進学するために準備をする、そんな時間もない。『ヤングケアラー』といわれる子どもたち（近年こういう言葉で呼ばれるようになりました



が)は、いくぶん前には『立派な子どもたち、親の面倒を見て弟や妹の世話をして立派な子どもたち』という形で評価されていても、その子ども達の負っているものを社会が少しでも軽くするという流れは、もしかしたら足りなかったかなと思います。ヤングケアラーを考えた時に、私は神学生のごころに、神学校でも少し力を入れていたのですが、手話を習っていて神学校の中にグループが出来て、そして近くの教会で聴覚に障害がある人たち、あるいは難聴の人たちが手話を教えてくれるというサークルがあってそこに通いました。そうすると親に聴覚障害がある子どもは親が使う手話を覚え、そして自分は耳が聞こえるから間に入って通訳もやるのですね。小学生ぐらいからやっていました。大変だな、偉いなという気持ちは持ちましたけれども、今でいう『ヤングケアラー』という目でその子を見た覚えが私自身ないですね。そういう視点を持っていなかった。そんな頃、聴覚障害や難聴のある親ごさんがどこかに出かける、行きたいところがあるという時に、子どもと一緒に通訳をする。その間、その子には遊ぶ時間はなく勉強している時間ももちろんない。ですから私たちは、偉いなとか大変だろうなと思っていました。ただ、その子はそれだけではないんだと。そのために何か奪われているし、私もその当時そうだったのですが、家庭の中で彼が持つ時間というものに対して顧みるということ配慮する視点を持っていなかったですね。こうしたことを私たちがたとえその人たちを無視しているわけでもなく、本当は、この子だけにこの子たちだけに負わせてはならない。

もし負わせてしまっていたら、先々また別の問題を生んでしまう。そんな風に私たちの頭の中で考えていくことができるのであれば、なにか、あるいは少しでも、と私たちは考えるだけではなくて、行動してもいけるということ今日の『散らされ、追い払われるばかりの羊の群れ』『顧みられない、配慮されることのない飼い主のいない羊のようなありさま』といわれるところを私たちは考えてみたいと思います。皆さんもまた身近なところで、もしかしたらこの子たち本当はしたいこと、あるいはしなくてはいけないことができないのではないか、そうした視点で少し見ていければ。子どもたちだけではないですね。顧みられない、配慮されないのは大人であっても当然あるわけですから、皆さん一人一人の身近なところでまた考えて今日のとりわけ第一朗読と福音朗読のキリストがどういう方であるか？というところを受け止め、それなら主に従う私たちはどういう者であるのか？というところにまで一緒に到達していきたいなと思います。

横浜教区一粒会のあゆみ



横浜教区一粒会は、1942年、第二代教区長・井手口三代市師の時代に正式に発足しました。設立当時、一粒会に加入したのは19小教区でした。第二次世界大戦中、また戦後すぐには、一粒会の活動が大きく発展することはありませんでしたが、1952年2月、第6代教区長として着座した荒井勝三郎司教は、一粒会を積極的に推進するように関係者に要請し、1956年には、その活動は28小教区にまで広がりました。また、荒井司教は、以前から提唱していた小神学校設立構想を発表し、併せて、一粒会にその協力を要請しました。その際、司教のもとに司教総代理ほか数名の司祭、数名の信徒で構成される一粒会本部委員会

が設立され、また、地区長ほか数名の信徒による地区委員会、主任司祭と数名の信徒による小教区委員会も設けられました。1962年の小神学校の建物が完成してからも、一粒会は本部委員会を中心とした全教区におよぶ組織を継承し、設立の目的を果たすために活動を続け、現在に至っています。



おしらせ



1 けいろ つど 敬者の集い

9月15日（日）11：30～サンタルチア講堂にて敬者の集いが行われます。
75歳以上の対象者には8月中旬にご案内ハガキを送りますので、ご出欠の返信をお願いします。

2 がいこくごしんと 外国語信徒とのミーティング

8月18日（日）11：30～センター1Fホールにて、第7回外国語信徒とのミーティング行います。外国語グループリーダーと関係者は、ご出席をお願いいたします。

3 ちいきふくしいいんかい 地域福祉委員会

毎月第1日曜日 9：00～教会の庭等の草刈りを行います。ともに活動していただける参加者を募集しています。

2024年 平和旬間「長崎の鐘」上映会と祈りの集いを開催します。お知り合いの方々をお誘い頂き、ご参加頂ければうれしく存じます。

1. 日時 2024年8月11日（日）13時～15時
2. 会場 甲府カトリック教会 サンタルチア講堂
3. 上映する映画 「長崎の鐘」
4. 定員 50名

4 よこはまきょうく いちりゅうかいだいかい どうがはいしん 横浜教区一粒会大会の動画配信おしらせ

- ◇テーマ「わたしたちについてきなさい。人間をとる漁師にしよう」
- ◇日時 2024年10月14日（月）スポーツの日 12:00～15:00
- ◇会場 カトリック松本教会 住所 長野県松本市丸の内9-32

※当日動画配信いたします。
横浜教区ホームページからもアクセスできます。



<https://www.youtube.com/watch?v=vAfKBijG1Ws>

5 【訃報】ヨハネ・ボスコ もりた 森田 みつよししんぶ 満義神父

(2010年4月～18年3月 カトリック富士吉田教会 主任司祭)

横浜教区司祭、ヨハネ・ボスコ森田満義神父様が、7月15日(月)午後8時45分、
 神山復生病院にて帰天されました。享年80歳でした。どうぞお祈りください。

6 きずなかいの会 お休み

7 典てんれい礼委員いんかい会 お休み

8 地ちいき域福ふく祉委員しいんかい会 8月25日(日) 11:30 ~ ドミニコの部屋

9 広こうほう報委員いんかい会 8月25日(日) 11:30 ~ センターホール

10 献けんどう堂100周しゅうねん年記ねんぎ念行ぎょうじ事 8月25日(日) 11:30 ~ サントルチア講堂

第1回だい実かい行委員じっこういんかい会

11 女じょせい性会かい 9月 1日(日) 11:30 ~ ドミニコの部

.....

やまなしライフサポートより

1. 炊出しボランティア募集

毎月第1木曜日に生活に困窮しているかたのための炊出しを行っています。

- ・14時から調理、16時から配食。16時40頃終了予定。一部時間帯でも参加可能です。
- ・マスク、エプロン、三角巾をご用意の上カトリックセンターにご集合ください。

次回は8月1日、9月5日です。

2. お米の寄付をお願いします

毎月第1木曜日以外の木曜日に教会庭で食料を配布しています。内容はお米3合、アルファ米、缶詰、カップ麺、レトルトカレー等です。

毎回60～70人の利用があるので30kgのお米が必用ですが、現在在庫が少なくなっています。

3. 夜間パトロールボランティア募集

- ・8月17日(土) 22時～23時30分
- ・甲府駅と周辺の公園等を廻り、路上生活者の発見や安否確認をします。
- ・懐中電灯をご持参の上、21時50分までにカトリックセンターにご集合ください。

※以上のお問合せ先：080-4158-0828 (芦沢)



はつせいたい 初聖体

初聖体式が6月2日と6月30日に行われました。森山 愛心（あいな）さん、ガンゾン ユミさん、森 ナオミさん、佐藤 サオリさんの4名です。おめでとうございます。

.....

私の初聖体の時、イエス様の愛がどれほど大きいかを感じました。感謝でいっぱいでした。なぜなら、クリスチャンの人生の中で幸せな時だったからです。聖体拝領は、神さまに対して「はい」と言うことです。

森 ナオミ

初聖体拝領ができてうれしかったです。幸せな経験でした。まったく味がありませんでしたが、そこにイエスの霊がやどっていることに気づきました。

カンゾン ユミ

私は、初聖体を受けて、不思議な気持ちになった。味は、朝ごはんのパンみたいな少し甘い味だった。最初は、ちゃんとできるか不安だったり、花かんむりを忘れて申し訳ない気持ちだったりしたけれど、イエス様のからだをいただいた時に気持ちが少し軽くなった。そして気分が少しよくなった。

佐藤 サオリ



今月の教会カレンダー（典礼暦・外国語ミサ・行事等）



8月 4日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第18主日	10:30 14:00	ミサ ベトナム語ミサ (tiếng Việt)
8月 11日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第19主日	10:30 15:00	ミサ ポルトガル語 (Português)
8月 15日（木）	聖母の被昇天	10:30	ミサ
8月 18日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第20主日	10:30 12:30	ミサ 韓国語ミサ (한글)
8月 25日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第21主日	10:30 14:00	ミサ 英語ミサ (English)
9月 1日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第22主日	10:30 14:00	ミサ ベトナム語ミサ (tiếng Việt)
9月 6日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ

月定献金振込先（教会維持費）

山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 188674

墓地・納骨堂管理費振込先（毎年1月～5月中に）

山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 1402890

受取人（宗）カトリック横浜司教区甲府カトリック教会

